



川崎労連 535 名の増勢で 28 回大会開催 神奈川県南支部から役員・代議員 5 人参加

川崎労連は9月30日に第28回定期大会を開催、組合員数を昨年大会時の14,092名から14,627名へと535名増加する成果のなかで迎えました。

また安倍政権が森友・加計学園疑惑の追及から逃れるために10月28日



挨拶をする菅野議長の右後ろは大島事務局次長、左から2人目は金崎幹事

に招集した国会冒頭で衆院を解散する憲法違反の暴挙を強行し、衆院選挙10月10日公示・22日投票が決定した直後の大会ということ、さらに衆院選挙と同日投票の川崎市市長選挙、川崎市議補選が重なって選挙戦に総決起する大会となりました。

この川崎労連の大会には、建交労神奈川県南支部から佐藤委員長・川崎労連幹事、大島書記長・同事務局次長、内外液輸分会の杉本・同会計監査、金崎書記次長・同代議員、赤羽特別執行委員・同代議員が、また川崎学童指導員支部からは田中代議員が



幹事退任の挨拶をする佐藤委員長と右隣の杉本氏

出席しました。建交労は赤羽代議員が県南支部のトラック職場を中心とする組織建設と川崎市の学童保育指導員に対する理不尽な対応などに関わって発言しました。

この大会で佐藤委員長が幹事を退任し、代って金崎書記次長が幹事に、杉本会計監査が退任して内外液輸分会の佐藤支部執行委員が会計監査に信任され、大島書記長は事務局次長に再任されました。

原子力空母はいらない！ 横須賀集会に参加

真っ蒼に染まった秋空の下“原子力空母はいらない10.1横須賀集会”が、米軍基地が居すわる横須賀軍港に隣接するヴェルニー公園で開催され1500人が結集しました。集会では神奈川県南支部の福田議長、全労連の小田川議長、日本共産党の畑野きみえ衆院選予定候補等が発言、横須賀を母港とする米原子力空母の危険性とアメリカに従う安倍政権を糾弾しました。建交労神奈川からは、県南支部の佐藤委員長と大島書記長、赤羽特別執行委員が参加をしました。



横須賀集会にて佐藤長と大島書記長



被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、 核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、 すべての国に求めます。

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。

沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。

しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。

人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。

平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月

よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

私は被爆者の訴えに賛同して署名します

名前	住所	募金

ご記入いただいたお名前や住所など個人情報は、この要請目的以外には使用しません。みなさんの署名は、毎年の国連総会に提出いたします。

【取扱団体】

原水爆禁止日本協議会

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4 ☎03-5842-6031